

令和2年度5月号
 令和2年5月1日(金)
 深谷市立川本南小学校
 TEL 583-3019

①みんな仲よく 生き生きと
 ②なんでも挑戦 学び合い
 ③みがいて伸びる 南の子

南小だより

学校教育目標
 ○進んで学ぶ子(知)
 ○思いやりのある子(徳)
 ○体をきたえる健康な子(体)

「進んで学ぶ子」とは？

校庭の桜の木もすっかりと緑の葉が増え、若葉が鮮やかな、風薫る5月となりました。しかし、4月から続く休校のため、校庭の遊具も一日でもはやく子どもたちと遊べる日を待ち望んでいるようです。



子どものいない学校は、やはり寂しい感じがします。新学期を迎え、にぎやかな笑い声が絶えないはずの教室もシーンと静まり返っています。

学校では、毎日の預かりや家庭確認、そして、家庭とのつながり支援の一つとして家庭学習

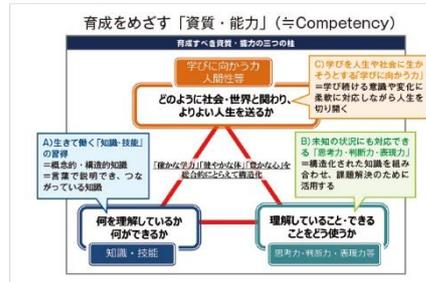
に役立つような動画の作成を行っています。今後は、新しい教科書を活用し、動画を見ながら学習を進めていくことができるような動画も作成していく予定です。



さて、動画でもご紹介しましたが、4月の始業式では、川本南小学校の学校教育目標について話をしました。今回は、その中の「進んで学ぶ子」についてお話をいたします。

本年度から、新学習指導要領が全面実施となり、これからの未来を担う子どもたちに育成すべき資質・能力の三つの柱が示されています。その三つの柱と学校教育目標の関連を見つめ直し、それぞれの子どもの姿について話し合いました。

【図1】育成を目指す資質・能力の三つの柱



「進んで学ぶ子」



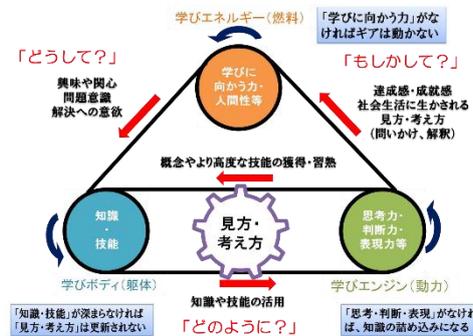
進んで学び続けるためには、身の回りの出来事について、興味や関心、問題意識等の「学びに向かう力」が必要です。身の回りには、「**どうして?**」がたくさんあります。その疑問や課題を解決していくための知識や技能を

身に付け、それらを「**どのように?**」活用していくかを考えていく。その過程において、自分で考えたり、仲間と学び合ったりすることで、「**もしかして?**」と新たな問いが生まれ、学びのサイクルが進んでいくのだととらえています。

「進んで学ぶ子」

↑
 いろいろと考えることが大切!

「どうして?」をそのままにしない



5月末までの休校が延長し、子どもたちと共に学ぶことができない中で、何ができるのかを職員全体で日々考え続けながら、努力してまいります。その一つの方法として、家庭確認での課題の提供や YouTube での動画配信をこれからも実施してまいります。そして、学校が再開した際には、「進んで学ぶ子」の目標達成のために、全力で努力していきますので、保護者や地域の皆様におかれましては、ご理解とご協力をお願いいたします。 校長 染谷 明信